

「一枚のレコード」
渡辺博志さん
に聞く。



音の文化・創造発信基地をめざす小さな町の大きな実験と銘うつ「レコード音楽によるまちづくり構想」……。やや電撃的とも思える突然の登場ですが、全国の地域活性化策のモデルケースとして国土庁の後押しも決まり、いま、まちづくりの新しい風として鮮烈に巻きあがるうとしています。そこで今回は、同構想の火つけ役となった「一枚のレコード」のメンバー、渡辺博志さんを訪ね、発案者としての熱き思いをお聞きしました。

世界のレコードを集める夢と まちづくりの夢が重なり合う。

——レコード音楽によるまちづくり構想は、「一枚のレコード」の提唱が発端となっていますが、そもそもグループ結成のきっかけからお聞かせください。

渡辺 はい。結成のきっかけは昨年の暮れ、いつものように音の仲間が集まって、夜更けまでジャズを聴きながら酒を飲んでいるうちに、何故か突如として話題がふるさと創生資金とかまちづくりということになり、すっかりその話題でその場が盛り上がってしまい、

大胆にも、我々もまちづくりに参加したいと思うようになったことから始まりました。

その時、自分達の中で、世界のレコードを集めるという夢とまちづくりの夢とが重なり合っていました。レコード音楽によるまちづくりという構想が生まれました。そして、世界のレコードも一枚のレコードから始まるという意味で、「一枚のレコード」という名前をつけました。

コンサートを通じ、まちづくりの輪を広げる。

——現在の主な活動内容を教えてください。

渡辺 一枚のレコードは、特にレコード音楽によるまちづくりをテーマに掲げています。そこで、毎月コーヒーを飲みながら雑談と

いかかコミュニケーションあふれるリラククスした雰囲気の中でレコードコンサートを開いています。それ以外にも地域からの依頼があれば、そこに出かけて行って、酒を飲み交わしながら雑談する出張

アタリレコード100年の歴史

一八七七 エンタテインメントが蓄音機を発明

一八八七 田島四郎のレコードが発売される

一九二六 蓄音機が蓄音機に進化する

一九四八 三〇分の再生がでるLP登場

一九四九 18cm45回転が発売される

一九五〇 33回転と45回転が発売される

一九五〇 33回転と45回転が発売される

一九五〇 33回転と45回転が発売される

のふるさと

わたなべひろし

町国民健康保険病院院長 東京都出身・四十三歳 順天堂大学医学部卒業 同大学大学院及び助手を経て昭和58年本町へ着任、現在に至る。

文化あふれる、心 づくりをめざす。

■「一枚のレコード」代表 中川正巳・会員数8名

コンサートも開いています。
このようなコンサートを通じて、
人との出会いを大切に、もっと

二〇世紀の文化遺産を保存・継承 する。

—— 音楽媒体は今や完全にコ
ンパクトディスクの時代に入っ
ていると思いますが、今、なぜ、あ
えてレコードなのか、この辺はい
かがでしょうか。

渡辺 そうですね。まちづくり
においてレコードは、ほんのひと
つのテーマにしか過ぎませんが、
このテーマというのは独創的なも
ので、なおかつ身近なものでなけ
ればいけないと考えています。

そこで、特に我々の生活に深い
かわりのある音楽の中に独創的
なテーマを求めました。それには、
今まさに消え去ろうとしているレ
コード文化の保存を置いて他には

産業振興と人材育成を「文化」と いう側面から求める。

—— レコード音楽によるまち
づくり構想とはどんなことをイメ
ージされているのですか。

渡辺 現在、町内にいくつもあ
るまちづくり構想のうちの一つで
すが、その中で、「レコード音楽
によるまちづくり構想」は、唯一、

もっとまちづくりの輪を広げてい
きたいと思っています。

ないのではないかという結論に達
したのです。何故なら音楽はヒト
にとって最も古くから身近にある
文化ですし、その音楽文化にレコ
ードがこれまで果たしてきた役割
の大きさを考えれば、レコードの
保存は、今、誰かがやらなければ
ならない極めて重要なことです。
そしてまだ誰も成し遂げていない
大事業です。

レコードは、二十世紀と共に生
まれ、そして共に消え去ろうとし
ていく文化ですが、この貴重で特
異な文化遺産を保存するというこ
とは、世界的にみても大変評価の
高いことだと思っています。

文化的な面からまちづくりを考え
ていこうという試みです。そして
これまでやって来たまちづくりの
活動に加えて、これがまちづくり
の新たな一本の柱になる可能性が
あるものと確信しています。
—— というのは、まちづくりにおい

て大切なことは、まず産業の振興
であり、次いで人材の育成であり、
最後に文化があると思います。そ
して産業も人材も、もう既に多く
の人達の努力が払われ、成果を上げ
ています。そこで我々は残りの文
化という面からまちづくりを考え
ていこうとしています。

しかし文化は、産業だとか経済
の光の中でしか育ちません。そし
て、人材育成という栄養も必要と
します。

ですから、このレコード音楽に
よるまちづくり構想でも、産業の
振興と人材の育成を第一義として
考えています。いきなり文化を中
心としたまちづくりをめざすなん
ていうものでは決してありません。
文化あふれるまちづくりをする
過程において、これがどんなに産
業や人づくりに役立つかを理解し
ていただき、実際に成果を出しな
がら進めていかなければならない
と思います。

そこで、この構想が独創的で他
に例を見ないことと文化に対する
世界的な貢献度の高さから、非常
にユニークで文化的なまちづくり
をしていることを全国的に印象づ
けることから始めようと考えてい
ます。

次頁につづく

45回の大賞RCAが33
回、レコード大賞、33回
対し50年間はCBSレコ
ードが45回、レコード大賞
を受賞した。

一九五〇 日本初のLPレコ
ードが発売される

日本レコード大賞が
設立された。レコード大賞
はレコードの品質を
審査し、賞状を授け、
賞金が二万円であった。

一九五八 ステレオレコード
の規格決定

ステレオレコード規格
が決定された。45
分規格と決定。規格
はレコードの品質を
審査し、賞状を授け、
賞金が二万円であった。

一九五九 シニアがMM型を
発表

ステレオ再生用カセット
テープとして、シニアがM
M（マルチトラック、
ト）型を発表。MM型
はレコードの元祖である

一九五九 オルトフォンがM
C型を発表

デンマークのオルトフ
ンがMC（マルチトラック）
型を発表。MC型はレコード
の品質を審査し、賞状を授け、
賞金が二万円であった。

一九八二 天のライバルC
Dが登場

世界共通デジタル規格の
CDがついに発表される。
これまで日本だけではない
世界のレコードが生産さ
れた。

新冠ブランドのプレミアアを高める。

—— まちの活性化、波及効果としてどんなことが期待されるのでしょうか。

渡辺 いま、申し上げたとおりこのまちづくり構想の最終目的は文化あふれるまちづくり・こころのふるさとづくりですが、その前にどうしても避けて通れない産業の振興と人材の育成ということがあります。

そこで、この構想では、近い将来の二〜三年後には産業への大きな効果を期待し、十年後には人材育成への効果を期待しています。そして、遠い将来では文化に対する大きな役割を期待しています。

現在、新冠のいろいろな産業のそれぞれの分野では、既に新冠というブランドが定着してはいますが、全体のブランドにはなっていないと思います。そこで、このまちづくり構想を通じてもつと全国的に新冠のアイデンティティが認知されるようになれば自然に全体のブランドイメージがより高いものになっていくだろうと考えています。

そうなれば何を作っても、新冠ブランドというプレミアアがつくことになり、他よりも高くそして多

く売ることも可能ではないかと思えます。あらゆる産業にとつて、こんなにも有利なことはありません。また一方で、文化という面から見れば、このレコードという文化遺産を保存管理するということは、図書館や美術館のようにいつでもレコードを利用できるということです。すなわち、町民はもとより誰でもこれを鑑賞したり研究したりすることができるといえます。全国から音楽愛好家や研究者ばかりでなく観光客も含めて多くの人が新冠を訪れるようになり、そこから交流が生まれ、草の根文化が芽生えたり、音楽家や研究者のための音楽村のような構想が生まれていく可能性があります。

出来るだけ早く、しかもたくさん のレコードを集める。

—— これからの課題としてはどのようなことがあるのでしょうか。

渡辺 独創的で文化あふれるまちづくりとして全国的に大きなインパクトを与えるために不可欠な

このように、このまちづくり運動が多少でもその一助となって、産業や経済がより活性化し、人材の育成がなされたとき、自然に文化のあふれるまちになっているに違いありません。

ことは、文化遺産として保存する価値があるようなレコードの収集・保存をしなければならぬことです。つまり、エジソンの歌った「メリーさんの子山羊」から現在までのレコードを出来るだけ揃え、それを永久保管できる倉庫を確保することが必要です。

そしてもつと大切なことは、他の町がこれをする前に完成させなければ全く意味がなくなってしまうということなのです。

—— そのために、今、必要なことは何ですか。

渡辺 はい。これはやはり私たちの活動に対する理解と賛同をいただくよう努力することです。そのためには、これまで同様、あわてず急がずじっくりと腰を据えて、地道な活動を続けていくことだと思います。

—— どうもありがとうございます。



レコードコンサートの模様。参加者はくつろいだ雰囲気レコード音楽に耳を傾ける。

よき人生のパートナーをあなたに!

- 町産業後継者育成推進協議会では、産業後継者（農業・漁業・商工業の後継者）の人生のよきパートナーをさがし、をお手伝いしています。
- 手続きは簡単、協議会に申し出、登録をしていただくだけで済みます。
- 詳しくは協議会事務局（役場産業課農政係 ☎7-2111 内線52番）まで

農村生活体験生 受入れ農家

★詳しくは町産業後継者育成推進協議会事務局（役場産業課農政係 ☎7-2111 内線52番）まで